

次世代自動車センター浜松 活動レポート Vol.229

■ CES 2024 視察報告会（会員限定）

2024年1月9日から12日にかけて、米国・ラスベガスの「Las Vegas Convention and World Trade Center」を中心会場として、世界最大規模の電子テクノロジーの見本市、CES（Consumer Electronics Show）が開催されました。

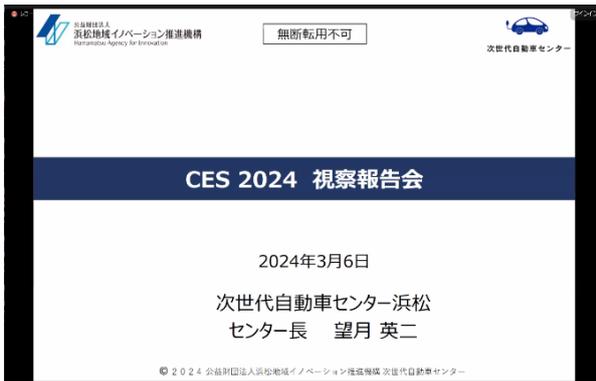
次世代自動車センター浜松では、次世代自動車に関する最新情報を収集する一環として視察を行ない、視察レポートを取りまとめました。

今回、会員企業の皆様に、次世代自動車技術のトレンドや企業の取り組みについての最新情報を得る機会としてご活用いただくため、望月センター長が講師となって、レポートに基づいて、CES 2024に出展された自動車メーカー、部品メーカー及び先進IT企業などの最新の次世代自動車技術について、Webセミナー形式で報告会を開催しました。

■日時：令和6年3月6日（水）13時30分～15時

■場所：Web形式

■参加者：127社/462名



【参加者の声】

- ・全体の動向、完成車メーカー、IT企業、部品メーカーと区分けして情報が整理されていて理解しやすく、参考になった。
- ・展示品の報告のみならず最初に市場動向などの紹介から始めていただいたのが、マーケット背景のおさらいになり、非常によかった。展示品報告や取材内容もよくまとめられていて素晴らしいと思った。
- ・膨大な出展の中からEV、CASEに関連する技術情報を抜き出して情報提供していただき、効率的に最新技術を確認することができた。技術ターゲットの動向が次世代自動車センター様の見解を合わせてご提示頂けたため、注目すべき領域がよく理解できた。
- ・新技術や部品が様々なモビリティへ展開・搭載されており、視野を広く見ていく必要性を改めて感じた。
- ・次世代自動車の動きとしてはEV化の是非が話題にあるが、開発現場では確実にその先に進んでいることが非常に理解できた。全ての機械においてソフトウェアの比重が高まることは常なのでそれを実感することができた。
- ・会社の取組としての電動化領域につながる内容は少なかったが、最新のCASEの状況が分かる内容で、とても興味深く視聴した。パワートレインの熱マネジメントに取り組んでいるが、電気製品となった自動車にはパワートレイン以外の熱マネジメントも重要で、今後の参考になった。
- ・自動車の更なる変革としてSDVが今後の開発の大きなテーマとなることに対し、大変興味深く拝聴した。業界標準の地位確立のため、大手部品メーカーと完成車メーカー、IT企業などから様々な提案が行われており、各メーカーの開発コンセプト状況を伺い知ることができた。
- ・SDVとはどういったものか分かりやすくご説明いただき、実際に各社がSDVを意識した展示となっていたことも報告を見て知ることができた。BlackBerryはスマホの負け組だという認識だったが、車載ソフトでこれほどまでに採用されていたと驚いた。
- ・明瞭簡潔にポイントを絞った報告、特にSDVの各社取り組みはとても興味深く、有意義に聞くことができた。詳細は配布資料を見ることで理解が深まり、とても勉強になった。
- ・部品サプライヤーのため、SDV化に伴う部品のモジュール化が進むとサプライチェーンが変わると思う。今後の売り先の市場を予測する視野を広げる参考になった。
- ・自動車のソフトウェア化が部品メーカーとしては危機感を覚えることができ、今後の新規テーマ、アイテムなどの提案の考え方として参考になった。
- ・自動車関連のデバイス開発をしており、カーメカの技術動向が理解できた。
- ・ソフトウェア開発を行っているが、今回はソフトウェアに関連するいろんな分野の情報が多く紹介されていたため、興味深い内容が多くて参考になった。
- ・多くの会社が、従来の部品分野に捉われず新たな取り組みを実践していることが大変参考になった。
- ・今後のEVシフトの市場動向や技術動向についてご教授いただくことができ大変参考になった。特にSDVソフトウェアを中心に開発がはじまっていくであろうとのことで関連産業を注視していきたい。
- ・展示会に参加した場合でも、全部の展示物を確認できないこととどれが有用な情報となるか分別しづらいため取りこぼしが気になるが、本視察報告会は、多くの出展企業から良い情報を選びすぐって説明していただけるため、大変有用な情報を得ることができた。